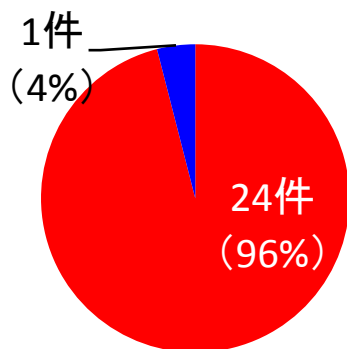


# 乗用型トラクターの事故に関する 安全対策のポイント

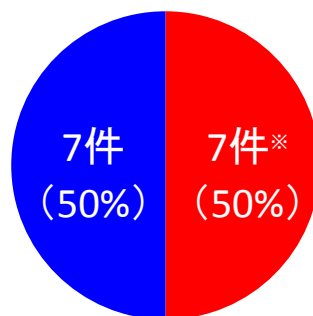
[都道府県事故情報(平成22年4月から9月まで)詳細分析結果]

## ① 安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用し、シートベルト着用を徹底しましょう！

### ○安全キャブ・フレームの有無による事故割合



安全キャブ・フレームなし



安全キャブ・フレームあり

■ 死亡事故  
■ 負傷事故

※ 安全キャブ・フレームありの死亡事故(7件)についてみると、うち5件はシートベルト未着用(推定を含む)。

安全キャブ・フレームのあるトラクターでもシートベルトを着用しなければ、安全域の中に身体が固定されないため、転倒した際に身体を守ることはできません。



### 【ここをチェック】



+



**フレーム付きトラクターでのシートベルト着用を徹底しましょう。**

いつも気をつけている



今後もっと気をつける

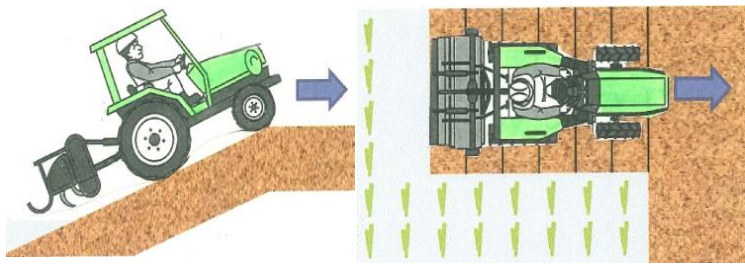


## ②作業環境を確認し、危険性に配慮しましょう！

転倒が発生している場所としては、ほ場から出入りする際の傾斜やほ場の端から法面に転落するケースが数多く報告されています。以下の点に注意し、事故を起こさない環境作りを心がけることが重要です。



### 【ここをチェック】



作業機を下げて、傾斜に対して直角の向きで入退出しましょう。

いつも気をつけている



今後もっと気をつける



### 【ここをチェック】



危険が潜む場所は草刈りで見通しをよくしましょう。

いつも気をつけている



今後もっと気をつける



## ③ブレーキペダルの連結を確認しましょう！

転落・転倒事故の多くは操作上のミスが伴うものと思われます。ほ場から出たところでの事故では片ブレーキによる事故などが考えられます。



### 【ここをチェック】



作業が終わったら、圃場を出る前にブレーキを連結しましょう。

いつも気をつけている



今後もっと気をつける



家族や地域で確認!

# 田植え機のヒヤリ・ハッとチェックシート

田植え機の使用時に、あなたも「ヒヤリ」「ハッと」した経験はありませんか? その「ヒヤリ」「ハッと」は事故の芽です。家族や地域で確認し、重大事故につながる前に摘み取りましょう。

## ▼こんな経験ありませんか?

① バランスを崩して転倒・転落しそうなことが...



ある

ない

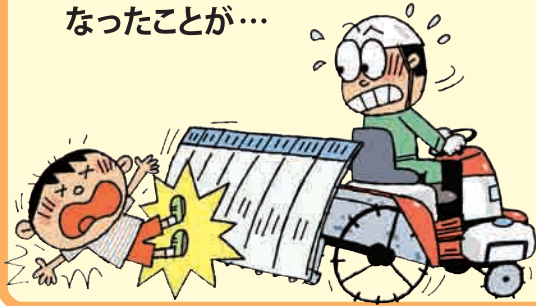
## ▼次はヒヤリではすまないかも...

- ① 原因になる、農道の溝や傾斜などの場所を確認し、十分注意しましょう。
- ② トラックからの積み降ろしは、アタッチメントなどの状態を考慮し、適切な方向でゆっくりと進みましょう。あゆみ板の上では操行、クラッチ操作、変速作業を絶対にしないようにしましょう。
- ③ 段差のあるほ場への出入りや、あぜ道の乗り越えは直角に行いましょう。



**油断大敵!** 初心にかえて安全な農作業を心がけましょう。

② 周囲をよく確認せず、補助者をひきそうになったことが...



ある

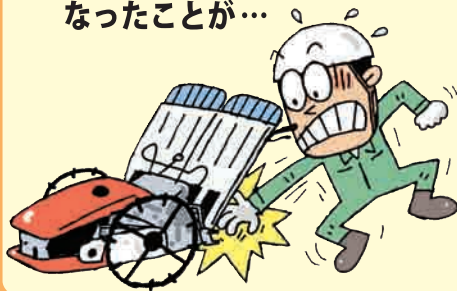
ない

- ① 周囲の安全確認を徹底しましょう。
- ② エンジンの始動は、各操作レバーが中立の位置にあり、駐車ブレーキがかかっていることを確認しましょう。

**油断大敵!**

初心にかえて安全な農作業を心がけましょう。

③ 植付部に手などを巻き込まれそうになったことが...



ある

ない

植付部が石やわらなどの異物をかみ込んだ場合は、エンジンを止め、作業部が停止したことを確認してから除去作業をしましょう。

**油断大敵!** 初心にかえて安全な農作業を心がけましょう。

このほかにどのようなことで「ヒヤリ」「ハッと」しましたか?

「ヒヤリ」「ハッと」を摘み取るには、どういった取り組みが必要でしょうか?

家族や地域で「ヒヤリ」「ハッと」経験を共有し、農作業事故ゼロに取り組みましょう。